都市再生整備計画 フォローアップ報告書 佐久穂地区

平成24年5月

長野県佐久穂町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

<u> 作来</u>	表式4一① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定															
		指標	,	従前値	目標値	事後評価				フォローアップ(こ	計測時期	フォローアップ時	7ォローアップ時		総合所見	
		1日 1示	単位	는 보기	의 차 (評価値	見込み・確定の	別目標達成度	1年以内の 達成見込み	よる確定値	可以即可知	度	理由	改善策の方向性	でロガえ	
	指標1	住民納得度	%	38.3	51	57.2	確定見込み	0	ありなし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	エスケープ道路の整備により孤立集落の減少や緊急車両の通行ルートが確保された。また、防災情報システム整備により、町内の防災無線が一本化され、迅速で安定した情報提供が可能になった。さらに、耐震性地下式貯水槽の整備などにより、防災体制の充実が図られた。また、地元要望に沿った道路整備や宅地整備、光ファイバ幹線等を整備することにより、生活環境が向上した。	
	指標2	転入者数	,	201	230	201	確定 見込み	×	あり なし	227	H24年4月	Δ		□ 改善策はてのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	宅地造成や公営住宅整備、道路、光ファイバ幹線等の生活環境整備や特産品開発による産業の活性化などにより、定住施策を実施してきたが、転入者数は従前値とほぼ同数であり、一定の効果はあったものの、目標値に達しなかった。 しかし、町内人口が減少傾向であるなか、転入者数が減少していないことは、事業効果があったと想定され、今後、転入者数の増加も見込める。	
	指標3	道水路普請実施集落 割合	%	60.3	75	100	確定見込み	•	なし		H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地元要望に沿った道路整備やコミュニティ施設の整備、区への補助金や資材支給により、各地域にあった活用が可能となった。 地域で行う維持管理により、危険箇所等が地域の共通認識として把握でき、地元からの整備要望がより具体化されたとともに、町への整備要望個所について、自主的に自営工事を行う区が増加した。	
		(•		(1	1	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4一② その他の数値指標の確定

	指標		· 従前値	目標値	事後評価				フォローアップ(こ	計測時期	フォローアップ [°] 時 点での達成	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見	
	1日 1示	単位		日保旭	評価値	評価値 見込み・確定の別 達成度 1年以内の 達成見込み		よる確定値	可则时别	度	理由	改善策の方向性	他日別先		
その他の 数値指標1	そば組合の耕作面積	m [*]	112,217		173,948	確定 ● 見込み				H 年月				産業振興として、そば組合への支援や道路整備により、農業環境が向上し、そば組合の耕作面積の増加に繋がった。また、耕作面積が増えたことにより、荒廃農地の削減にも繋がり、田園風景の景観形成維持に役立っている。	
その他の 数値指標2	自主防災組織の組織 数編成割合	%	72.4		93.1	確定 ● 見込み				H 年月				防災施設の整備などにより、防災意識の 向上が図られ、地域による防災活動が活発 化し、自主防災組織が増加した。 特に、地域支え合いマップの作成などによ り、災害時の避難や救援の準備が充実し た。	
その他の数値指標3	-					確定 見込み				H 年月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる		

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4一③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

	ト 添付様式5一③に記載した つまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項		
	佐久穂町一体感の創出とコミュニティの継続			・イベント開催への準備や道水路普請への資材支給などによる継続的な後方支援。		
・成果を持続させるために 行う方策	災害時の安全性の高い地域づくりと生活環境の向上		小中学校の統合に合わせて通学路などの環境が 整うように、整備を進めている。	・安全性の高い地域づくりを目指した、道路や水路の整備。		
	_					
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への	定住環境を向上する更なる施策			・中部横断自動車道開通による町の活性化を目指したハード整備やソフト施策の充実。		
対応策・その他 必要な改善策	_					

事後評価シート 添付様式5一③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(第5回変更) 佐久穂地区

まがの 長野県 佐久穂町

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	e くほまち 佐久穂 町		地区名	t く ほ ち く 佐久穂地区			面積	989 ha
計画期間	平成 19	年度 ~	平成	23	年度	交付期間	平成	19 年度 ~ 平成	23	年度

目標

『小さくともキラリと光る町を実現する』 ~安心、安全、快適なまちづくり~

目標1 安心とうるおいがある快適なまち (生活環境の整備と産業振興)

目標2 学びと福祉が織りなす心豊かな人づくりのまち (教育文化の向上と保健・医療・福祉の充実)

目標3 知恵と夢で拓くみんなで創るまち (住民と行政の協働)

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ■当町は、平成17年3月20日に佐久町と八千穂村が合併して佐久穂町となり現在に至っている。
- ●当町の人口は平成12年国勢調査では13,622人であったが、平成17年には12,982人となっており、5年間で人口が4.7%の減少、世帯数が1%の減少となっている。高齢化率も年々増加し、平成17年で28.3%になっており、国より15年、長野県より10年先行している状況にある。この高齢化で特徴的なことは、独居老人や準独居老人(親族が介護を受けている)が増加していることである。また、高齢化の著しい集落周辺は荒廃農地が増加している。
- ●当町の面積188.13k㎡の7割が山林原野となっており、集落はその山林原野を流れる多数の沢沿いや、僅かに傾斜がゆるくなっている山間部に点在している。このため、テレビの難視聴地域や携帯電話の使えない集落も多数ある。このうえ、地上波デジタル放送が導入された場合は難視聴範囲の拡大は避けられない。 さらに、大雨や大雪といった自然現象に弱く幹線道路が寸断されるとその集落は孤立する。災害時の情報伝達やエスケープルートの確保は急務の状況にある。
- ●事業着手された中部横断自動車道と佐久南部広域農道については、これに通じる町道整備が急務となっており、その一部は、交通安全統合補助事業等で整備を開始しているが、財政難からすべてに着手できない状況にある。また、企業誘致に向けた条例改正や工場用地の選定に着手している。
- ●公共交通機関はJR小海線が主体となるが、そこへの連結は旧佐久町が町営バス、旧八千穂村が75歳以上のみに限定した福祉タクシー(料金補助)となっていたが、旧両町村の公共交通機関を全廃し、新たにデマンド型交通システム(乗合タクシー)を平 成19年度から導入する計画である。これは、地形的にバスを運行できない集落が多いことによる。
- ●築30年を経過したごみ焼却処理施設の老朽化が激しいため、平成18年度をもって廃止することとしているが、焼却ごみは民間委託として、ごみの資源化と焼却ごみの減量化を積極的に推進する計画である。町有数の農地に隣接するこのごみ焼却処理施 設は、老朽化したコンクリートの円形煙突という容姿から農作物への影響を心配する消費者の風評によって、生産する農作物の販売が阻害されている。また、この煙突はあらゆる地域から見えるため、町のイメージダウンとの苦情がある。
- ●町内には4小学校2中学校があるが、町全体で毎年1学級(36人)が減少しており、現在この問題の検討委員会を立ち上げて小中学校の統廃合問題の論議に入っている。この児童数の著しい減少は、宅地造成、公営住宅建設、あるいは企業誘致といった |総合的な若者定住施策の早期着手が急務である。
- ●都市部同様の匿名的生活を志向する住民が当町でも増加していることから、地域リーダー、道水路普請、除雪作業、あるいは異世代交流等々が無くなりつつある。これに伴い住民のなかに「道水路の維持管理やごみ処理は行政がやるべきこと」といった |意見も見られるようになり、自主防災組織、消防団、環境美化行動等の集落による重要な自治活動が衰退し、地域コミュニテイが崩壊しつつある。

課題

- ●新町の速やかな一体感創出
- 集落間道路整備、新町イベント、遊休施設利用、あるいは住民間の情報交換手段等々が未整備状況にある。また分庁方式を廃止した場合の新庁舎の建設あるいは遊休公共施設利用の問題。
- ●人口減と少子高齢化に対応する総合的な施策。
 - 多様な福祉施策が必要であり、高齢化集落の抱える問題(遊休荒廃農地、除雪作業等)。

少子化に対する総合的な施策と小中学校統廃合問題。

- ●多発する災害時の対応
 - エスケープルート整備あるいは災害や防災情報を提供する施設が未整備状況にある。これは、地上波デジタル放送が導入されるとさらに悪化する。
- ●中部横断自動車道への対応

自動車道で分断される集落に集会施設を新設して、コミュニティの維持発展を図る必要がある。経済活性化の手法模索。

●生活環境と地域コミュニテイ

ごみ資源化と焼却処理ごみの減量化、そして廃止ごみ焼却処理施設の風評被害対策。

標高の高い山間部集落の除雪対策。昭和30~40年代に実施した国勢調査の図根点亡失に伴うトラブル解消。

合併に伴い各集落単位に区長制度を新規導入したが、集落集会所の未整備、区の資金不足、さらにコミュニティ崩壊によって十分に機能していない状況にある。

異なるメーカーの老朽化した防災無線を強引に合体してあるため、いつ壊れるかわからない状況にあるだけでなく、消防防災施設の未整備地区がある。

将来ビジョン(中長期)

佐久穂町新町建設計画(H17~26年度)、佐久穂町自立計画(H18~22年度)、佐久穂町3ヵ年実施計画(H19~21年度)において「都市基盤の整備、生活環境の整備、産業の振興、保健医療福祉の充実、教育文化の向上、住民と行政の協働推進」の6本の柱を積極的に取り組み、「小さくともキラリと光る町を実現する」としている。なお、当町には都市計画はない。

目標を定量化する指標

指 標	単位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
住民納得度		行政施策に対して住民の総合的な納得度をアンケート調査	財政的に苦しくとも上記課題のひとつひとつに対応していけば、満 足はできないが納得はして頂ける。	38.3%	平成17年	51%	平成23年
転入者数	人	転入者数の増加	住環境整備が実施されれば、転入者数は増加する。	201人	平成17年	230人	平成23年
道水路普請実施集落割合	%		道水路普請は防災対策でもあり、地域の助け合いでもあるので、コ ミュニテイが再生されれば普請実施集落数は増加する。	60.3%	平成17年	75%	平成23年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針 方針に合致する主要な事業 目標1 安心とうるおいがある快適なまち(生活環境の整備と産業振興) 基幹事業:道路改良,改修,舗装事業(11路線) 地域生活基盤施設事業(5事業) ・人と自然と景観に配慮した社会基盤(道路、公共交通、景観形成)の整備と、災害や防災を重視した防災情報ネットワークの整備を行う。 公営住宅建設事業 なお、防災情報システムをより有効に機能させるため、防災情報システム附帯事業を実施する。 提案事業:基準点再設置事業、特産品開発事業、 ・郷土の原風景である田園風景の再生を行い、地球環境を意識した循環型社会の形成と総合的な消防・防災体制の整備を図る。 小規模住宅地造成事業、ごみ焼却施設解体整備事業、 なお、この整備の一環として佐久穂町地域防災計画に第一次避難場所として位置づけられている大岳集落センター、及び隣保館の整備を行う。 地域防災システム構築調査、防災情報システム付帯事業 ・住宅整備では、若者やUIターン者のニーズを把握した良質な公営住宅や宅地造成を行う。 関連事業:中部横断自動車道、広域営農団地整備事業、交通安全統合補助事業、 ・地域経済の持続的な活性化のために、既存産業の発展、企業誘致を支援し、商工農林業の強化を図る。 生涯現役お出掛支援事業、消防施設整備事業 目標2 学びと福祉が織りなす心豊かな人づくりのまち(教育文化の向上と保健・医療・福祉の充実) 基幹事業:地域生活基盤施設事業 ・小中学校統廃合問題を解決に導き、学校施設の充実を図るとともに廃校等の遊休公共施設の利用促進を図る。 公営住宅建設事業 ・少子高齢化の対策と対応を総合的に行う。 提案事業: 高齢者栄養改善食育推進事業、防災情報システム付帯事業、 ・まちぐるみで学び合える場の提供と行政広報を充実させ、コミュニテイの再生を行う。 地域防災システム構築調査、新町一体感創出事業、コミュニティ再生事業 ・高齢者や障害者が地域で多様なサービスが受けられるように既存福祉施設の役割を見直し、改修や増築を行う。 |関連事業:生涯現役お出掛支援事業| |目標3 知恵と夢で拓くみんなで創るまち(住民と行政の協働) 基幹事業:地域生活基盤施設事業 |提案事業:高齢者栄養改善食育推進事業、基準点再設置事業、特産品開発事業、 ・住民が行きたくなる役場づくりを行う。トラブルや苦情への行政に起因する根本的な理由の解決を図る。 ごみ焼却施設解体整備事業、防災情報システム付帯事業、 住民の積極的な交流や連携を促し、ふれ合える機会の拡大を図る。 地域防災システム構築調査、 ・自治活動が維持できる支援を行う。 新町一体感創出事業、コミュニティ再生事業 ・佐久穂町に住んでいることに誇りが持て、連帯感が醸成できるように、積極的なPR活動と伝統芸能の継承・復活支援を行う。 関連事業:生涯現役お出掛支援事業

その他

交付期間中の計画管理について

事業を円滑に進めるため、また、目標に向けて確実な効果をあげるために常に住民コンセンサスをとりながら行う。

事業終了後における事業展開

合併に伴い空いてくる公共施設の有効利用を図りながら、本事業の目標効果を持続、発展させる試みを今後も続けていく。

交通安全統合補助事業

合計

|生涯現役お出掛け支援事業(デマンドシステ」|佐久穂町

高野町

佐久穂町

佐久穂町

国土交通省

L=1.5km

町内全域

0

0

H26

H18

H18

H18

1,040

95,674

34

交付対象事業費 国費率 1,589.1 交付限度額 643.3 0.405 (金額の単位は百万円) 基幹事業 交付期間内 (参考)事業期間 交付期間内事業期間 (参考)全体 交付対象 事業 事業箇所名 事業主体 直/間 規模 細項目 うち官負担分しうち民負担分 事業費 開始年度 終了年度 終了年度 事業費 事業費 開始年度 本郷切原線 道路 佐久穂町 $_{-}$ 568m 39.5 39. 直 H19 H22 H19 H22 39.5 39.5 榎田大張線 佐久穂町 91.1 91.1 91. 直 =956m H19 H22 H19 H22 91.1 中央小通学路 佐久穂町 直 H19 H23 H23 193.4 193.4 193.4 193.4 .=571m 余地川線 29.0 佐久穂町 直 _=581m H19 H20 H20 29.0 29.0 29.0 H19 佐久穂町 駒寄白矢線 直 =1,022mH23 H23 91.8 91.8 91.8 91.8 H19 H19 向原川久保線 佐久穂町 直 H19 9.5 9.5 =59m H19 H19 H19 花岡穴原線 佐久穂町 直 =359mH19 H21 H19 H21 75.2 75.2 75.2 75.2 頭無畑北線道 佐久穂町 直 396.0 396.0 =2,700mH19 H23 H23 396.0 396.0 H19 松井線 佐久穂町 直 H19 H23 H23 116.7 116.7 116. _=1,495m H19 116.7 佐口湖線 佐久穂町 31.5 直 =895mH19 31.5 31.5 31.5 H20 H19 H20 川久保添田線 直 30.4 佐久穂町 _=574m H21 H22 H21 H22 30.4 古都及び緑地保全事業 下水道 駐車場有効利用システム 地域生活基盤施設 佐久穂町 直 171.9 163.9 163.9 H19 高質空間形成施設 高次都市施設 既存建造物活用事業 |土地区画整理事業 市街地再開発事業 住宅街区整備事業 地区再開発事業 バリアフリー環境整備促進事業 優良建築物等整備事業 拠点開発型 住宅市街地沿道等整備型 総合整備 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型 街なみ環境整備事業 |住宅地区改良事業等 都心共同住宅供給事業 公営住宅建設久保田 公営住宅等整備 佐久穂町 直 H19 H19 H19 H19 54.0 54.0 54.0 都市再生住宅等整備 防災街区整備事業 合計 1,330.0 1,330.0 1,322.0 1,322.0 ···A 提案事業 (参考)事業期間 交付期間内事業期間 (参考)全体 交付期間内 交付対象 事業箇所名 事業主体 直/間 規模 事業 うち官負担分しうち民負担分 事業費_ 細項目 終了年度 終了年度 事業費 事業費 開始年度 開始年度 高齢者栄養改善食育推進事業 佐久穂町 直 A=49.94m² H19 27.0 27.0 27.0 27.0 H19 H19 H19 28.0 基準点再設置事業 佐久穂町 直 基準点[0]0箇所 28.0 28.0 28.0 H19 H19 H19 H19 直 特産品開発事業 佐久穂町 1団体 10.0 地域創造 H19 H19 H19 H19 10.0 支援事業 小規模住宅造成事業 佐久穂町 直 A=2,387m² H19 15.0 15.0 15.0 15.0 H19 H19 H19 ごみ焼却施設解体整備事業 佐久穂町 直 1棟 H19 H20 H20 55.8 55.8 55.8 55.8 H19 防災情報システム付帯事業 佐久穂町 直 イントラネット設備 H21 H21 105.0 105.0 105.0 105.0 事業活用調|地域防災システム構築調査 佐久穂町 直 H19 H19 H19 H19 5.3 5.3 5.3 5.3 2.1 2.1 2.1 2.1 事後評価事業 佐久穂町 直 H23 H23 H23 H23 まちづくり活|新町一体感創出事業 5.0 5.0 5.0 5.0 佐久穂町 直 H19 H19 H19 H19 動推進事業 コミュニティ再生事業 13.9 13.9 13.9 13.9 佐久穂町 直 H19 H19 H19 H19 267.1 267.1 267.1 267.1 ····B 合計(A+B) 1.589.1 (参考)関連事業 (いずれかにO) 事業期間 全体事業費 事業箇所名 事業主体 所管省庁名 規模 事業 終了年度 開始年度 直轄 補助 | 地方単独 | 民間 中部横断自動車道「長野新直轄」 佐久JCT~八千穂IC 国土交通省 H20年代 84,000 L=22.4km 0 H15 8,000 農林水産省 0 広域営農団地農道整備事業「佐久南部地区」 L=6.7km H11 H22 佐久穂町工区 長野県 2,600 道整備交付金事業 内閣府 _=2.0km 0 H23 H27